

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミツ星

コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塚本 聡一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 金城 安弘

TEL 06-6762-6939

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,112	3.6	111	34.8	122	1.5	93	△10.9
26年3月期第3四半期	6,865	5.4	82	△49.0	120	△30.3	105	2.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 125百万円 (△13.5%) 26年3月期第3四半期 144百万円 (29.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	16.43	—
26年3月期第3四半期	18.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	9,749		4,028		41.3	705.02
26年3月期	9,425		3,948		41.9	690.62

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,028百万円 26年3月期 3,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	9,500	1.0	180	11.7	170	△22.3	140	△22.5	24.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	6,333,276 株	26年3月期	6,333,276 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	619,475 株	26年3月期	615,650 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	5,716,437 株	26年3月期3Q	5,718,165 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱さもみられますが、円安効果による自動車産業等の収益が高まっているほか、公共工事の増加も背景となり、緩やかな回復基調が続いています。

また、原油価格の大幅な下落の恩恵は、円安の影響で得られず、景気は依然として先行き不透明な状況が続いています。

こうした中、当社グループは、前期に実施した製販統合型事業部制組織の利点を発揮させ、製品の開発・改良や市場開拓等に鋭意取り組んでおります。

その結果、売上高は7,112百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

営業利益につきましては、ポリマテックおよび電熱線事業では減益となりましたが、電線事業において大幅増益となった結果、グループ全体での営業利益は111百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

経常利益は、前年同期45百万円あった為替差益が、23百万円に減少したことから、122百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

また、四半期純利益は、法人税等調整額の増加等により93百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [電線]

当事業の主要な市場である建設・電販向けの売上は、公共工事の増加を背景に、ゴム電線、プラスチック電線共に前年比増加基調で推移しました。売上高は、昨年1月に発売した新製品の寄与もあり、4,675百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

利益面につきましては、販売量の増加に伴う増産効果と適正価格での販売に注力した結果、セグメント利益は157百万円（前年同期比116.1%増）となりました。

#### [ポリマテック]

当事業は、消費税引き上げ後の住宅着工件数の落ち込み等の影響を大きく受け、全体の売上高は1,871百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

利益面につきましては、国内売上の減少や円安による材料価格の上昇等により、セグメント損失30百万円（前年同期セグメント利益19百万円）となりました。

#### [電熱線]

当事業は、当期に入り、海外商社筋からニッケル価格の上昇を背景とするニッケル系鋼種の受注が増加したことから、売上高は565百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

しかし、利益面では、付加価値の高い極細線の販売が減少したことなどから、セグメント損失15百万円（前年同期セグメント損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,463百万円となり、前連結会計年度末と比べ310百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が164百万円、電子記録債権が88百万円、たな卸資産が30百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は3,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加しました。これは主に投資有価証券が52百万円増加しましたが、有形固定資産全体で減価償却費の計上により38百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は9,749百万円となり、前連結会計年度末に比べ324百万円増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,461百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加しました。これは主に電子記録債務が138百万円、1年内返済予定の長期借入金が119百万円増加しましたが、短期借入金が209百万円、支払手形及び買掛金が34百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は2,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ220百万円増加しました。これは主に長期借入金が213百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,721百万円となり前連結会計年度末に比べ244百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,028百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円増加しました。これは主に利益剰余金が49百万円、その他有価証券評価差額金が30百万円増加したことによるものであります。

自己資本比率は41.3%（前連結会計年度末は41.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が922千円減少し、利益剰余金が922千円増加しております。なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,304,651	1,301,129
受取手形及び売掛金	3,065,695	3,229,811
電子記録債権	83,162	171,599
商品及び製品	1,006,660	1,067,832
仕掛品	187,880	204,733
原材料及び貯蔵品	372,307	324,740
その他	133,101	163,837
貸倒引当金	△530	△282
流動資産合計	6,152,927	6,463,401
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,952,833	1,953,947
その他(純額)	825,062	785,908
有形固定資産合計	2,777,896	2,739,855
無形固定資産	11,722	10,557
投資その他の資産		
投資有価証券	447,503	499,894
その他	39,308	39,328
貸倒引当金	△3,726	△3,400
投資その他の資産合計	483,085	535,823
固定資産合計	3,272,704	3,286,237
資産合計	9,425,632	9,749,638
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,325,858	1,291,724
電子記録債務	361,522	500,339
短期借入金	830,659	620,693
未払費用	36,383	33,338
未払法人税等	27,465	9,388
賞与引当金	68,967	35,529
その他	786,319	970,053
流動負債合計	3,437,177	3,461,067
固定負債		
長期借入金	1,324,481	1,537,760
長期未払金	4,998	254,890
役員退職慰労引当金	253,870	—
退職給付に係る負債	335,143	335,190
その他	121,255	132,358
固定負債合計	2,039,748	2,260,199
負債合計	5,476,925	5,721,267

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,596	1,133,596
利益剰余金	1,716,081	1,765,204
自己株式	△148,439	△149,298
株主資本合計	3,837,756	3,886,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,069	165,760
為替換算調整勘定	1,603	△3,232
退職給付に係る調整累計額	△25,723	△20,176
その他の包括利益累計額合計	110,949	142,351
純資産合計	3,948,706	4,028,371
負債純資産合計	9,425,632	9,749,638

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,865,834	7,112,870
売上原価	5,672,796	5,872,622
売上総利益	1,193,037	1,240,248
販売費及び一般管理費	1,110,271	1,128,644
営業利益	82,766	111,603
営業外収益		
受取利息	192	218
受取配当金	8,323	10,796
受取家賃	6,910	6,735
仕入割引	5,874	5,685
為替差益	45,669	23,818
その他	12,417	6,268
営業外収益合計	79,387	53,522
営業外費用		
支払利息	24,425	22,461
売上割引	13,902	17,247
その他	3,258	2,987
営業外費用合計	41,586	42,696
経常利益	120,567	122,429
特別利益		
固定資産売却益	38	230
投資有価証券売却益	6,111	—
特別利益合計	6,149	230
特別損失		
固定資産除却損	1,494	1,092
特別損失合計	1,494	1,092
税金等調整前四半期純利益	125,222	121,567
法人税、住民税及び事業税	14,056	13,386
法人税等調整額	5,769	14,240
法人税等合計	19,825	27,626
少数株主損益調整前四半期純利益	105,397	93,941
四半期純利益	105,397	93,941



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	105,397	93,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,784	30,690
為替換算調整勘定	△14,341	△4,836
退職給付に係る調整額	—	5,546
その他の包括利益合計	39,442	31,401
四半期包括利益	144,840	125,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,840	125,342

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,309,371	2,050,004	506,457	6,865,834
セグメント間の内部 売上高又は振替高	959	—	267	1,226
計	4,310,331	2,050,004	506,724	6,867,061
セグメント利益又は損 失(△)	72,920	19,696	△9,849	82,766

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,675,089	1,871,981	565,798	7,112,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	607	—	41	648
計	4,675,696	1,871,981	565,840	7,113,519
セグメント利益又は損 失(△)	157,556	△30,052	△15,900	111,603

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。